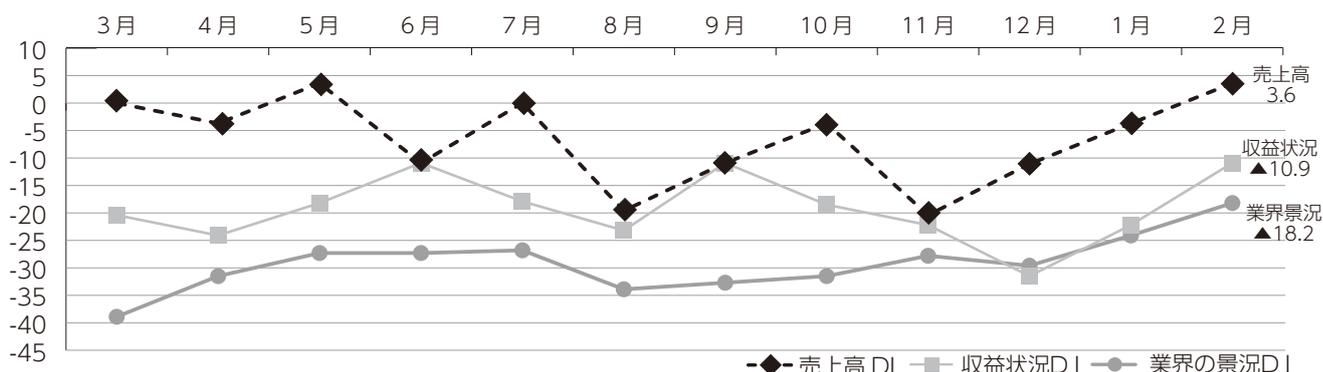


## 中東情勢の緊迫化を懸念

### 概況

全体を通して、物価高騰により依然として厳しい状況の中、中東情勢の緊迫化による更なる影響を懸念。原油価格の上昇やインフレの進行等、不安視する声が聞こえた。また、業種を問わず、原材料・エネルギー価格の高騰によるコスト増を製品価格や売上に転嫁しきれず、収益が圧迫されている様子や深刻な人手不足に苦慮する様子が窺えた。

### 主要DIの推移（全体）



### 景況天気図（前年同月比）

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
全業種平均	☁	☁	☀	☁	☁☔	☁☔	☁	☁☔	☁☔
製造業	食料品	☀☔	☁	☁☔	☀☔	☁☔	☁	☁☔	☁☔
	繊維製品	☁☔	☁	☀☔	☁☔	☁	☁☔	☁☔	☁☔
	窯業・土石	☁☔	☀	☀	☁☔	☁☔	☁☔	☁☔	☁☔
	機械・金属	☀☔	☁☔	☁	☁☔	☁☔	☁☔	☁☔	☁☔
	その他	☀	☁☔	☀	☀☔	☁☔	☀☔	☀☔	☁☔
非製造業	卸売業	☁☔	☁☔	☀	☁☔	☁☔	—	☁☔	☁☔
	小売業	☁☔	☀	☁☔	☁☔	☁☔	—	☁☔	☁☔
	商店街	☀	☁☔	☀	☁☔	☁☔	—	☀☔	☁☔
	サービス業	☀☔	—	☀☔	☁☔	☁☔	—	☁☔	☁☔
	建設業	☁	—	☀	☁☔	☁☔	—	☁☔	☁☔
	運輸業	☀	—	☀☔	☀☔	☀	☁☔	—	☁☔



天気図は、各景況項目について調査月と前年同月を比較して、DI値を基に判断したものです。  
DI値 = (増加・好転) - (減少・悪化) ÷ 回答数

## コメント掲示板

### 《製造業》

<b>食 料 品</b>	<p><b>[パン]</b> 現在、原材料高や人件費等の経費増加、求人難等の経営課題に直面している。</p> <p><b>[菓子]</b> 県北部の観光地にある店舗は、大雪から客足が伸びず、売上はほぼ昨年並みだった。</p> <p><b>[酒造]</b> 売上数量は、全体的に前年並みだが、純米酒が好調だった。</p>
<b>織 維 製 品</b>	<p><b>[織物 (桐生)]</b> ベテラン職員や新人の離職により人手確保に苦慮している中、原材料費が高止まりしており、賃金上昇分を製品価格に転嫁できず、厳しい状況が続いている。</p> <p><b>[インテリア]</b> 昨今の利上げ、中東情勢の緊迫化により、厳しさは増している状況。</p>
<b>窯業・土石</b>	<p><b>[生コンクリート]</b> 出荷量について、東毛地区や吾妻地区、西毛地区で大幅に増加したが、中央地区が大幅に減少したため、全体では減少となった。</p> <p><b>[碎石]</b> 売上高は、西毛地域では増加するも、他の地域では減少するほか、吾妻地域は不変。</p>
<b>機 械 ・ 金 属</b>	<p><b>[めっき]</b> 最低賃金の大幅引き上げにより、既存社員についても定着の観点から給与増額の必要性を感じている。人手不足、人材不足に悩んでいる組合員が多い。</p> <p><b>[機械金属 (高崎)]</b> 組合員は独自に営業力強化を図っており、新規受注獲得を目指している。一方、従業員確保は苦慮しており、早期退職するケースも多岐にわたる。</p> <p><b>[医用関連]</b> 病院の設備について、老朽化による更新を見込んでいるが、病院の技師不足が深刻な状況から、自動化・AI化が必須なため費用が高額になり、買い手は慎重な様子。</p> <p><b>[機械金属 (館林)]</b> 中東情勢の緊迫化により、原油高騰を懸念している。</p>
<b>そ の 他</b>	<p><b>[家具]</b> 市場環境は厳しい状況が続く。今後、更なる円安の進行から材料高に拍車がかかり、収益を圧迫することを懸念している。</p> <p><b>[紙製品]</b> 中東情勢の緊迫化が長引き、深刻な状況が継続することを懸念。</p> <p><b>[印刷]</b> 以前のように競争するのではなく、組合員同士が得意な分野で助け合い、業界を維持しているという風潮に変化してきているように感じている。</p>

### 《非製造業》

<b>卸 売 業</b>	<p><b>[紙卸売]</b> 仕入価格の高騰が業界内の共通課題であり、コスト増分を吸収できるほどの価格転嫁は出来ておらず、収益の伸び悩み、採算の低下に繋がっている。</p> <p><b>[酒類飲料卸売]</b> 4月からの価格改定の案内がメーカーより多く届いており、取引先への通達等で日々の業務が圧迫されている状況。</p> <p><b>[再生資源]</b> 鉄・非鉄ともに価格は上昇傾向。特に銅系は継続的に価格が上昇しており、盗難被害も深刻化している。発生量に関しては低調が続いている。</p>
<b>小 売 業</b>	<p><b>[家電]</b> 家庭用エアコンの省エネ基準が大幅に引き上げられ、基準未達のモデルが製造・販売できなくなる問題、2027年末で水銀を使用するほぼ全ての蛍光灯の製造・輸出入が国際的に禁止される問題、通称2027年問題のためか、エアコン、LEDの欠品がみられる。</p> <p><b>[中古自動車オークション]</b> 出品台数の確保に苦慮。中東情勢の緊迫化から、当面は厳しい状況が続くのではないかと懸念。</p>
<b>商 店 街</b>	<p><b>[前橋市]</b> マルシェや祭りが開催され、高校生や家族連れ等多くの人出で賑わった。冬の間外出を控えていた人たちが出てきた印象であり、3・4月の気候にも期待している。</p> <p><b>[富岡市]</b> 春の訪れを感じる日が増えてきたが客足が戻ってきたとは感じていない。暖かさと共に賑わいが増すことを期待している。</p>
<b>サ ー ビ ス 業</b>	<p><b>[伊香保温泉]</b> 物価高騰により依然として厳しい状況の中、中東情勢による影響を懸念。</p> <p><b>[草津温泉]</b> インバウンドは微減だったが、大学生等若年層グループが増加し、宿泊人数は前年並みを維持したため、売上は微増。</p> <p><b>[四万温泉]</b> 積雪が少なく、宿泊キャンセルはあまり出なかった。宿泊単価を上げて、原材料や仕入値、燃料等が値上がりしており利益が圧迫されている。</p> <p><b>[不動産取引]</b> 価格高騰や金利上昇から、新築よりも中古住宅の購入傾向がある。特に若年層が多く、低価格で希望のエリアに住め、浮いた予算でリフォームして住む傾向が顕著。</p>
<b>建 設 業</b>	<p><b>[建設]</b> 資機材費と人件費の急騰や金利の上昇により、コストが増加。利益が減少しており、地域建設業の経営は一段と厳しくなっていると声が組合員から聞こえている。</p> <p><b>[とび工事]</b> 育成就労制度の運用要領が公表され、どのような影響があるか動向を注視。</p> <p><b>[砂利採取]</b> 生産量、出荷量ともに前年同月比約10%近く落ち込んだ。年度末に向けて需要が回復することを期待している。資機材費の高止まりから生産コスト上昇は変わらない。</p>
<b>運 輸 業</b>	<p><b>[一般貨物運送]</b> 物価高に伴う消費の低迷を反映してか荷動きの鈍い状況が続いている。また、依然として中小零細事業者のドライバー不足は深刻。中東の緊迫状況が続くのであれば、原油価格の上昇、更なるインフレに繋がる恐れがあり、収益悪化を懸念。</p> <p><b>[貨物軽自動車運送]</b> スポット、引越、PET配送ともに売上は昨年同月比で増加。</p>

※本調査は、情報連絡員56人の報告を取りまとめ、その概要を示したものです。